

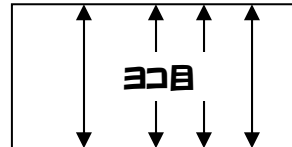
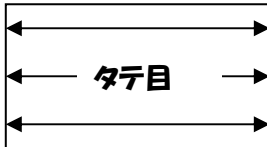
製本のススメ

Vol. 3

すっかり春らしくなりましたね。新人が入社して先輩になった人は、カッコいい所を見せるチャンスです！「さすがは先輩」と言われるように、正しい知識を身に付けておきましょう。

今回は紙目のお話

紙目とは繊維の流れる方向のことで、用紙の長手に平行に繊維が流れている物を**縦目**・反対に短手に流れている物を**横目**と呼びます。一般のプリンター用紙は縦目ですので、例えばA3サイズ of 用紙を購入し、半分に切るとA4横目ができます。同様にA4サイズの用紙を購入しカットするとA5横目。B4サイズをカットするとB5横目ができます。



紙目（繊維）の特徴としては、平行方向（紙目の流れ）に曲がりやすく、用紙の伸縮も少ない。つまり紙伸びしにくく、折り易いのです。逆に紙目に直角方向では紙は曲がりにくく、伸縮が大きいのです。この特徴を無視しては、製本は成立たないと言っても過言ではありません。チラシもメモも、決して例外ではなく**市販本は、ほとんど「縦目」**になるように仕上がっています。（ちなみに、今回のススメ用紙はヨコ目です）

カタログを折ったら背割れを起こしたなんて経験ないですか？見返し付きの冊子で小口やノド側にシワがでた事ないですか？片面印刷された用紙を裏面印刷のときに紙つまりを起こした事ないかな？薄い表紙の冊子がなんだか、ヨレヨレになった事ない？皆 紙の繊維の仕業なのです。こればかりは腕のいい職人もお手上げです。良い製品どころか作業にならない事も多く、製本会社から駄目だしを貰った人もいるのでは？？？たかが紙1枚 されど紙1枚ですね 次回も紙目のお話です。



Teabreak

コンパの多くなる季節、話題に詰まったら紙に千円札と10円玉の絵を書いてもらって見て！それからお財布を開けて本物と比べます。実物よりも大きく書いた人はお金にあまり困っていない浪費家タイプ 反対に小さく書いた人はシッカリ者でケチだよ。さあ、あなたはどっち？

by (株) 井関製本